港湾振興便り図

2018 7

第134号

目 次

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:

1 ポートエッセイ —14日から海フェスタにいがた—

~日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭~

2 トピック

●海外輸出実証実験の参加企業募集説明会を全道6ヶ所にて開催!

(北海道開発局 港湾計画課)

●宮古・室蘭フェリー航路が開設

(岩手県 県土整備部 港湾課)

●「仙台塩釜港 向洋地区ふ頭再編改良事業 着工式」を開催しました

(東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所)

●「小名浜マリンブリッジ」が土木学会 田中賞を受賞

(東北地方整備局 小名浜港湾事務所)

●「みなとオアシス伏木」登録証交付式を開催しました!

(高岡市 産業振興部 みなと振興課)

●「みなとオアシスまぐろのまち清水」が新規登録、登録証交付式を開催

(静岡市 海洋文化都市推進本部)

●四日市港に「ダイヤモンド・プリンセス」が初寄港

(四日市港管理組合 振興課)

●衣浦港整備促進期成同盟会・衣浦港振興会 共催 「衣浦港視察研修会」を開催

(衣浦港整備促進期成同盟会·衣浦港振興会)

●「みなとオアシス福良(ふくら)」新たに誕生!

(近畿地方整備局 港湾空港部 港湾計画課)

●「第7回深日港フェスティバル」が開催されました

(近畿地方整備局 大阪港湾·空港整備事務所)

●柴山港外防波堤(西)において二重円筒ケーソンの据え付けを実施

(近畿地方整備局 舞鶴港湾事務所)

●松山工業高等学校 現場見学会の開催について

(四国地方整備局 松山港湾·空港整備事務所)

●マリンパーク新居浜が「みなとオアシスマリンパーク新居浜」として登録

(新居浜港務局)

●鹿児島港を国際旅客船拠点形成港湾に指定!

(九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所)

3 お知らせ

◇四日市港まつりを開催します

1 ポートエッセイ

――14日から海フェスタにいがた―

~日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭~

港湾や船舶、海洋のことを広く知ってもらう海事イベント、「海フェスタにいがた」が14日から新潟市と佐渡市、聖籠町で開催される。新潟湊が世界に開かれてから150年になるのを記念するもので、「学んで、遊んで、食べて。海がもっと好きになる!」をテーマに掲げた。この機会にぜひ多くの皆さんから新潟にお越しいただきたい。ここでは多彩なイベントなどの一部をご紹介させてもらう。

(開港150周年のキックオフ)

150年前、新潟湊は佐渡の夷湊を補助港として、世界に開かれた。いまの新潟西港である。その後、 工業港の新潟東港が新潟市と聖籠町の境界に整備され、本州日本海側では最大の拠点港湾となっている。そのため舞台も3市町となっている。会期は29日までの16日間だ。この間、「海の総合展」が新潟市歴史博物館「みなとぴあ」と、新潟日報社「メディアシップ」を会場に開かれる。

(秋篠宮殿下・妃殿下がお成り)

14日は開会式が新潟市民芸術文化会館「りゅーとぴあ」で開催され、祭典がスタート。開催記念フォーラムも開かれる。18、19日には秋篠宮同妃両殿下がお成りになり、19日に両殿下をお迎えし記念式典・祝賀会が開催される。

(子どもも楽しめるイベント満載)

お楽しみも盛り沢山だ。15日夕方からは新潟市の目抜き通りでディズニーも参加するオープニングパレード。16日にはブルーインパルスの展示飛行や、西港では在港船による汽笛一斉吹鳴、14日から22日までの週末・祭日には西港でマルシェやキッチンカーもお目見えする海フェスパークが賑やかに行われる。

(多彩な船舶が大集合)

各方面から協力をいただき、多くの船舶が寄港する。14日から16日までは護衛艦「ひゅうが」が東港で一般公開されるのをはじめ、大型浚渫船「白山」(14、15日・西港)、海洋気象観測船「啓風丸」(同)、練習帆船「海王丸」(21、22日・西港)、多用途支援艦「ひうち」(28、29日・小木港)が一般公開される。さらに帆船「みらいへ」(21、22日)と帆船「Ami」(21~23、26~29日)、実習船「海洋丸」「くびき」(21~26日)、巡視船「えちご」(28日)の体験航海。帆船「みらいへ」(25~26日、28~29日)のオリジナルツアーなどが行われる。

(「水と土の芸術祭」も開催)

ご協力をいただいたすべての関係者に感謝申し上げます。14日からは西港の万代島をメイン会場に「水と土の芸術祭2018」も開催中ですので、この機会にぜひ新潟にお出でください。

●海外輸出実証実験の参加企業募集説明会を全道6ヶ所にて開催!

(北海道開発局 港湾計画課)

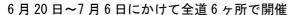
北海道開発局では、北海道総合開発計画における道産食品輸出額 1,500 億円の実現に向け、「北海道国際輸送プラットホーム(HOP)」や「農水産物輸出促進基盤整備事業による屋根付き岸壁等の整備」など、輸出拡大に向けた取組を行ってきました。

今年度は、道産食品の今後の輸出促進方策の検討のため、昨年6月に北海道開発局と連携協定を締結した(一社)北海道国際流通機構の協力の下、海外輸出の実証実験を行います。本実験では、道産食品を台湾・韓国へ輸出・販売し、現地通関の現状や海外消費者ニーズの把握、海外販売先のニーズに合わせた商品改良等を行います。

実証実験を行うにあたり、この実験に参加する企業を募集するため、全道6ヶ所にて説明会を開催したところ、全会場合わせて85名の参加がありました。

説明会では、参加者からは「現地ニーズの情報が得られるのは中小企業にとってもありがたいこと」、「過去の輸出事務で苦労したこともあり、こういった説明はありがたい」などのご意見をいただきました。







第6回説明会(札幌会場)の様子

●宮古・室蘭フェリー航路が開設

(岩手県 県土整備部港湾課)

6月22日(金)、岩手県初となるフェリー航路が岩手県宮古港と北海道室蘭港の間に開設されました。この航路は、急ピッチで整備が進められている復興道路などとの相乗効果で、物流や観光の面で大きな役割を果たすことが期待されています。



宮古港を出港するシルバークィーン

●「仙台塩釜港 向洋地区ふ頭再編改良事業 着工式」を開催しました (東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所)

6月9日(土)、宮城県仙台市の「夢メッセみやぎ」にて、国土交通省及び宮城県の主催による「仙台塩釜港 向洋地区ふ頭再編改良事業着工式」を開催しました。

仙台塩釜港のコンテナ取扱貨物量は年々増加を続け、平成29年速報値で25万8千TEUとなり、東日本大震災前の水準を超え3年連続で過去最高を記録しています。

本事業は、増加するコンテナ船の入港やコンテナ需要に対応するため、岸壁延伸、ふ頭用地拡張 及びガントリークレーンの新設を実施するものです。



着エセレモニーの様子

着工式には、関係者約150名に御出席いただき、主催者である菊地国土交通省港湾局長及び佐野宮城県副知事の挨拶の後、来賓の土井亨復興副大臣、秋葉賢也衆議院議員、西村明宏衆議院議員、伊藤信太郎衆議院議員、井上義久衆議院議員、阿久津幸彦衆議院議員、中野正志参議院議員から御祝辞を頂きました。その後、会場のスクリーンに施工現場の中継映像が映し出され、関係者が一斉にボタンを押すと鋼管杭の打設作業が始まるセレモニーが行われ、会場は大きな拍手に包まれました。

本事業の実施により、高砂コンテナターミナルの機能拡充を図ることで、震災からの復興及び東北地方の経済発展を後押しして参ります。

●「小名浜マリンブリッジ」が土木学会 田中賞を受賞

(東北地方整備局 小名浜港湾事務所)

臨港道路初のエクストラドーズド橋である福島県小名浜港の「小名浜マリンブリッジ」が、この 度、橋梁・鋼構造工学に関する優秀な業績に対して授与される「土木学会 田中賞(作品部門)」を 受賞しました。

「小名浜マリンブリッジ」の整備にあたっては、周辺環境と調和するよう景観に配慮したデザインとしたほか、長寿命化対策や円滑な維持管理への配慮など様々な工夫がなされており、これらの取り組みが今後の橋梁技術の発展に大きく寄与するとの評価により、受賞に至ったものです。

「小名浜マリンブリッジ」は、小名浜港の新たなランドマークとして皆さんに親しんでいただくため、11月まで毎週日曜日(9:00~16:00)に歩道の一般開放を実施しています。

6月に港背後地に大型ショッピングモールがオープンするなど、ますます賑わいを増す小名浜港へ是非この機会にお越しいただき、力強く復興を続ける姿を体感していただきたいと思います。



小名浜港 1~4 号ふ頭

●「みなとオアシス伏木」登録証交付式を開催しました!

(高岡市 産業振興部 みなと振興課)

6月1日(金)、富山県高岡市の伏木コミュニティセンターにおいて「みなとオアシス伏木登録証交付式」が開催され、北陸地方整備局佐々木次長より高岡市髙橋市長に登録証が交付されました。 伏木港は、地域住民はもとより観光客にも親しまれ、海越しから 3,000m 級の山々を望む絶景を楽しむことができます。万葉集でもこの絶景の歌が詠われています。

周辺地域では、国重要文化財「勝興寺」や日本遺産「北前船寄港地・船主集落」、万葉集をテーマとした研究施設「万葉歴史館」、新名所「道の駅雨晴」や「恋する灯台(岩崎の鼻灯台)」等が集まり、魅力はさらに高まっています。これらの魅力を最大限に発揮するため、みなとオアシス伏木の代表施設である、「伏木コミュニティセンター」を核に各所と連携を図り、地元住民や関係団体とともに、クルーズ船の誘致や人々の交流・賑わいを創出するようなイベント等の開催に積極的に取り組み、今後とも「ウォーターフロント(海の玄関ロ)」伏木港が、来訪者において、憩いの場・交流の拠点となるよう努めてまいります。



登録証交付式



みなとオアシス伏木代表施設 「伏木コミュニティセンター」



みなとオアシス伏木構成施設 「国分海浜公園」



雨晴海岸から見たみなとオアシス伏木 構成施設「万葉3号岸壁」

●「みなとオアシスまぐろのまち清水」が新規登録、登録証交付式を開催

(静岡市 海洋文化都市推進本部)

6月15日(金)、清水港が「みなとオアシスまぐろのまち清水」として、全国で111番目のみなとオアシスに登録されました。

清水港は"冷凍マグロ取扱量日本一"を誇る港であり、マグロをテーマにした「みなとオアシス」として登録されることで、「清水マグロ」の認知度向上や観光客誘致による地域活性化を目指しています。

登録を記念して、6月17日(日)には、代表施設 清水魚市場「河岸の市」において登録証交付式を開催しました。

交付式は、地元園児による「かっぽれ」披露によって始まり、来賓である望月義夫衆議院議員に 祝辞を頂いたあと、登録証交付者である菊地身智雄港湾局長より、田辺信宏静岡市長へ登録証が手 渡されました。当日は「マグロ汁」の振る舞いを行い、出席者や「河岸の市」来場者の皆さんが清 水港のマグロを楽しみました。

「河岸の市」は、年間を通じて、清水マグロや静岡市沿岸で水揚げされた「しずまえ鮮魚」を楽しむことのできる施設です。毎年10月には「清水港マグロまつり」を清水駅東口広場とあわせて開催し、多くの人で賑わいます。

清水港は来年開港120周年を迎えます。今回の登録を契機に、官民連携して清水港をより盛り上げていきたいと考えています。



かっぽれ披露の園児達と記念撮影



登録証交付の様子

●四日市港に「ダイヤモンド・プリンセス」が初寄港

(四日市港管理組合 振興課)

平成30年6月24日(日)、三重県四日市港にダイヤモンド・プリンセスが初寄港しました。 2,800名を超える乗船客が四日市を訪れ、伊勢神宮や伊賀流忍者博物館等オプショナルツアーによる観光を楽しみました。 また、クルーズ船の係留岸壁では、四日市よさこい踊り・諏訪太鼓といったステージが繰り広げられ、8.700人という大勢の見学者が港を訪れ歓迎ムードを盛り上げました。





●衣浦港整備促進期成同盟会・衣浦港振興会 共催 「衣浦港視察研修会」を開催 (衣浦港整備促進期成同盟会・衣浦港振興会)

平成30年6月4日(月)に衣浦港整備促進期成同盟会・衣浦港振興会 共催の「衣浦港視察研修会」を開催しました。

本視察研修会は、国土交通省、中部地方整備局並びに愛知県に対する衣浦港の整備促進に関する 要望に際し、要望者が、衣浦港の現状・課題を再認識し、衣浦港外港地区におけるふ頭の新規整備 などの実現に向けて、一丸となった実り多い活動とするために開催されました。

当日は、大見衆議院議員、国土交通省、愛知県の港湾関係者の皆様をお招きし同盟会並びに振興会の役員33名が参加し、要望箇所である衣浦ポートアイランド及び中央ふ頭西の現地視察及び船に乗り海上から衣浦港の利用状況等の視察を行うとともに、平澤三河港湾事務所長及び阪野衣浦港務所長より現地の状況及び事業計画の説明を受けました。

参加者からは「衣浦港整備促進の実現のためには、外港地区の利用計画はもちろんのこと、外港地区を種地とした"ふ頭再編"など、衣浦港全体のあり方について地元経済界と行政が更なる連携を深め、一丸となった取組を展開していくことが重要であると再認識した。」との声がありました。



衣浦港外港地区の事業説明



海上からの衣浦港視察

●「みなとオアシス福良(ふくら)」新たに誕生!

(近畿地方整備局 港湾空港部 港湾計画課)

平成30年7月1日に新たに登録された「みなとオアシス福良」(兵庫県南あわじ市)について、同日、みなとオアシス登録証交付式を開催し、国土交通省港湾局長(代理:近畿地方整備局副局長)から南あわじ市長へ、登録証の交付が行われました。

当日は海からの風が強くはありましたが、梅雨の晴れ間の夏らしい快晴のもと開催され、地元の和太鼓隊・美鼓音(みこと)による演舞、淡路で500年の歴史を持つ重要無形民俗文化財である人形浄瑠璃の特別公演「戎舞」、また、福良観光で一番の目玉とも言える「うずしおクルーズ」での海上視察など、福良港独自のイベントが賑々しく行われ、多くの市民と観光客にお披露目されました。南あわじ市の守本市長は「福良港の地形、うずしお、人形座といった様々な資産を活用しながら、地域全体の発展を目指す」と抱負を語られました。



登録証交付後の記念撮影 守本憲弘南あわじ市長(写真前列左から3番目) 長田信近畿地方整備局副局長(写真前列中央)



和太鼓隊・美鼓音(みこと)演舞



人形浄瑠璃特別公演「戎舞」



観光客で賑わう式典会場

●「第7回深日港フェスティバル」が開催されました

(近畿地方整備局 大阪港湾・空港整備事務所)

平成30年7月1日(日)、「第7回深日港フェスティバル」が、大阪府岬町のみなとオアシスみ さきの代表施設である「さんぽるた」が位置する深日港周辺で開催されました。

本イベントは、深日港と兵庫県淡路島の洲本港との間でかつて高速船等が行き来していた頃の賑 わいを期待し、住民をはじめ多くの方々に深日港の魅力を知っていただくこと及び航路復活により、 地域の活性化を目指すものです。

地元団体によるステージイベント、泉州地域や淡路を紹介するブースイベントの他、深日港の持 つ魅力と役割を活かすための海上イベント等で深日港をアピールし、当日は 5,000 人の動員数で賑 わいました。



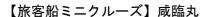




深日港フェスティバル入り口

【ステージイベント】主催者等挨拶 【主催者挨拶】田代堯岬町長







【オープ ニング セレモニー】 インフィニティ航行 深日港⇔洲本港



ブース出展

●柴山港外防波堤(西)において二重円筒ケーソンの据え付けを実施

(近畿地方整備局 舞鶴港湾事務所)

平成30年6月30日(土)に柴山港柴山地区外防波堤(西)築造工事において、二重円筒ケーソ ン(9号函)の据え付けを行いました。

山陰東部に位置する柴山港(兵庫県美方郡香美町)では、日本海を航行する貨物船などが安全に 避難できるように、避難港整備(防波堤整備)を進めています。

外防波堤(西)の全長は450mで、二重円筒ケーソンを15函据え付ける計画とし、今回の据 え付けで270m(9函分)が完成しました。

また、本工事は、約7,100 t ある二重円筒ケーソンを日本最大の起重機船(4,100 t 吊)

で浮力を利用しながら据え付ける大規模工事であり、据え付けに向けた工事見学会では香美町長をはじめ、地元小学校等17団体約240名の見学者がありました。

舞鶴港湾事務所では、これからも引き続き柴山港避難港整備を推進して参ります。



二重円筒ケーソン(9号函)据え付けの様子



地元小学校見学会の様子

●松山工業高等学校 現場見学会の開催について

(四国地方整備局 松山港湾・空港整備事務所)

平成30年5月28日(月)松山港において、松山工業高等学校土木科の3年生を対象に現場見 学会を開催しました。

本見学会は、将来を担う土木技術者の育成支援を目的として、松山の物流拠点である「みなと」の役割について学んでもらい、実際の現場を見学することで土木事業への興味・関心を深めて頂くため開催しているものです。



同高校OBによる仕事内容の説明



みなと全体を見渡せる展望室から見学

本見学会では、みなとが出来上がる工程について活発な質問があり、将来の就職を考える生徒に とって非常に有意義なものになったのではないかと思います。また、卒業した先輩がどのような仕 事をしているのか強い興味があったようで、これを機会に「みなと」に関わる仕事にも興味を持っ て頂ければ、非常に嬉しく思います。

●マリンパーク新居浜が「みなとオアシスマリンパーク新居浜」として登録

(新居浜港務局)

マリンパーク新居浜は、愛媛県新居浜市の北東部に位置する海浜リゾート公園で、本格的レストランを併設した結婚披露宴などにも利用できるクラブハウスをはじめ、四国最大級の公共マリーナ、スポーツや各種イベントに利用される多目的広場・イベント広場、市内唯一の人工海浜とビーチバレーボール場を持つやしの木ビーチ、総芝生張りのキャンプ場などから構成されています。

平成30年7月1日、マリンパーク新居浜の夏の風物詩でもある第9回マリン村(商工会議所青年部主催)開村式の冒頭、浅輪宇充国土交通省大臣官房技術参事官、池田直太国土交通省四国地方整備局次長を迎え、みなとオアシス登録証交付式を開催しました。梅雨空の中、地元選出の国会議員である山本順三参議院議員、白石洋一衆議院議員、井原巧参議院議員にもご臨席いただき、「みなとオアシス」への期待膨らむ交付式となりました。





登録証交付式

第9回マリン村(ステージショー)

今後は、新居浜市内の「道の駅」マイントピア別子と連携した観光資源のPRをはじめ、クルーズ船の誘致活動にも結びつけたみなとオアシスの取り組みを通じて、さらなる賑わい空間の創出を図っていきます。



みなとオアシスマリンパーク新居浜

●鹿児島港を国際旅客船拠点形成港湾に指定!

(九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所)

平成30年6月29日(金)に、鹿児島港が「国際旅客船拠点形成港湾」に指定され、石井国土交通 大臣から指定書の交付を受けました。今回の指定により、クルーズ船の寄港数が増加し、地域活性 化につながる効果が期待されます。鹿児島港湾・空港整備事務所では、今後とも、新たな岸壁の整 備を促進するなど、鹿児島県の観光振興に資するよう、クルーズ船の受け入れ環境整備を着実に推 進してまいります。



《マリンポートかごしまに接岸しているクルーズ船の様子》

3 お知らせ(みなとのイベント情報)

◇四日市港まつりを開催します

- ①開催日時 平成30年8月5日(日)午前8時30分~午後4時35分 (イベントにより開催時間は異なります。)
- ②場 所 四日市港霞ケ浦地区ポートビル及び周辺
- ③概 要 四日市港まつりが、今年も8月5日(日)に開催されます。

恒例のカッターレース大会、展望展示室「うみてらす 14」の無料開放(9:30~21:00)、鳥羽商船練習船「鳥羽丸」の一般公開、消防車やきらら号などの屋外展示、関係団体による屋内展示、キッチンカーなどが多数出店する「港まつりマルシェ」など。わたあめやヨーヨー釣りなどの「こども縁日」には「ヴィアティン三重」の選手も参加します。その他、家族で楽しめるイベントが盛りだくさんです。

4 http://www.yokkaichi-port.or.jp/

::*: 本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先 :*:*:* *:* *:*:

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL: 03-5776-0630 FAX: 03-5776-0631

e-mail: bcf06323@nifty.com